がん化学療法指示書

登録番号	370
作成日	2023/3/8

レジメン名	デュルバルマブ + GC療法
診療科・対象疾患	消）治癒切除不能な胆道癌
投与間隔	3週毎
投与サイクル数	最大8コース

Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
イミフィンジ	デュルバルマブ	※1500mg/body	day1
ゲムシタビン	ゲムシタビン	1000mg/㎡	day1、8
シスプラチン	シスプラチン	25mg/㎡	day1、8

治療内容

注射

滴下順	抗癌剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール day1	…	day8	…	day15	…	day21
Rp.1		生理食塩液	100mL	任意	ルート確保・フラッシュ用	●						
Rp.2	癌	**イミフィンジ(デュルバルマブ)**	1500mg	60分	点滴静注メイン	●						
		生理食塩液	250mL									
		9:15～										
Rp.3		生理食塩液	50mL	15分	点滴静注メイン・経過観察用	●						
		10:15～										
Rp.4		ラクテック	500mL	90分	点滴静注側管	●						
		10:30～ Rp.5と同時投与										
Rp.5		パロノセトロン注	1袋	15分	点滴静注メイン	●						
		デキサート(6.6mg)	1V									
		デキサート(1.65mg)	2A									
		10:30～ Rp.4と同時投与										
Rp.6	癌	**シスプラチン**	25mg/㎡	120分	点滴静注メイン	●						
		生理食塩液	250mL									
		総量250mL 10:45～										
Rp.7		KN3号	500mL	90分	点滴静注側管	●						
		12:00～										
Rp.8	癌	**ゲムシタビン**	1000mg/㎡	30分	点滴静注メイン	●						
		生理食塩液	100mL									
		総量100mLにする 12:45～										
Rp.9		KN3号	500mL	90分	点滴静注側管	●						
		13:30～										

滴下順	抗癌剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール day1	…	day8	…	day15	…	day21
Rp.1		生理食塩液	100mL	任意	ルート確保・フラッシュ用			●				
Rp.2		ラクテック	500mL	90分	点滴静注側管			●				
		10:00～										
Rp.3		パロノセトロン注	1袋	15分	点滴静注メイン			●				
		デキサート(6.6mg)	1V									
		デキサート(1.65mg)	2A									
		10:30～(ラクテック開始30分後)										
Rp.4	癌	**シスプラチン**	25mg/㎡	120分	点滴静注メイン			●				
		生理食塩液	250mL									
		総量250mL 10:45～										
Rp.5		KN3号	500mL	90分	点滴静注側管			●				
		11:30～										
Rp.6	癌	**ゲムシタビン**	1000mg/㎡	30分	点滴静注メイン			●				
		生理食塩液	100mL									
		総量100mLにする 12:45～										
Rp.7		KN3号	500mL	90分	点滴静注側管			●				
		13:00～										

内服

その他必要薬剤	デカドロン錠4mg 2錠分2 朝昼食後 day2-3、9-10
総投与時間	day1 5時間45分、 day8 4時間30分
血管外漏出リスク	イミフィンジ:不明、シスプラチン:炎症性抗がん剤、ゲムシタビン:炎症性抗がん剤
投与時の注意事項	イミフィンジ(デュルバルマブ):フィルター付きルートが必要 同一の点滴ラインを使用して他剤を併用同時投与をしないこと Grade1～2のinfusion reactionが生じた場合は、次コースからアセトアミノフェンや抗ヒスタミン薬の前投薬を検討する。(Grade2のinfusion reactionの場合は、次回の投与を初回投与の50%の速度で点滴を行う) 【infusion reaction経験例の前処置処方例】レスタミンコーワ10mg 5錠アセトアミノフェン300mg 2錠
備考欄	デュルバルマブ+GC療法は最大8コース施行後、デュルバルマブ単独療法に移行する。 ※体重30kg以下の場合の1回投与量は20mg/kg(体重)